不動産鑑定士

2022年合格目標
初学者対象講座
受講ガイド

LEC東京リーガルマインド

0 000621 220016
FU22001

はじめに

拝啓　時下ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度はＬＥＣ不動産鑑定士講座をお申込いただきまして、誠にありがとうございます。

本冊子はＬＥＣ不動産鑑定士講座を有効に活用していただくためのご案内です。講座を受講する前に必ず本冊子をご一読ください。各講座の特徴や具体的なカリキュラム、学習スケジュール等を記載しています。

なお、本冊子は発行日現在のものであり、事前の予告なしに変更等行う場合がございますので予めご了承ください。

講座に関するお知らせや、訂正・改正情報等の最新情報は、ＬＥＣ不動産鑑定士サイトに掲載いたします。こちらも定期的にご確認くださいますようお願い申し上げます。

ＬＥＣ不動産鑑定士サイト　http://www.lec-jp.com/kanteishi/

皆様の合格をＬＥＣ講師・スタッフ一同心よりお祈り申し上げます。

敬具

2021 年 1 月吉日

ＬＥＣ東京リーガルマインド

不動産鑑定士課

Contents

学習をはじめる前に・・・・・・・・・・・・　2
学習の進め方　短答合格コース・・・・・・・　4
学習の進め方　短答＋論文フルコース・・・ 10
学習の進め方　短答＋論文基礎コース・・・ 18
通信・通学スケジュール・・・・・・・・・・ 24
各種ご案内・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
「答練・模試」受講上の注意事項・・・・・・ 29
Ｍｙページ等に関しまして・・・・・・・・・ 33

学習をはじめる前に

◎ 受講証について

お申込受付後に受講証を配布いたします。受講証は、受講証番号と会員番号が記載されています。講座に関するお問合せや、マークシート・論文答案提出の際などに必要となります。また講座受講の証明となるもので、今後「割引制度」をご利用して、各種講座をお申込する際にご提示いただくことがございます。大切に保管してください。

万一、お受け取りになられていない場合は、お申込いただいた LEC 各本校窓口、もしくは、下記 LEC コールセンターまでお問合せください。

なお、弊社『LEC On-line』で、通学講座を全く含まない通信講座（【通信】全て通信など）をお申込の場合は、「受講証」は発行されず、お申込時に弊社より送信されたメール（件名：「LEC On-line【重要】ご確認ください。ご注文手続完了のご連絡です」）をもって「受講証」の代わりとさせていただきます。上記メールには、「受講証番号」や「会員番号」等、今後講座を受講いただく上で必要となる情報が記載されていますので、大切に保管してください。

◎ 教材の発送について

教材の発送は、通信スケジュールに沿って発送いたします（短答対策：P24、論文対策：P25 を参照してください）。原則、発送開始日から数日でお届けいたします。発送開始日から一週間以上過ぎても届かない場合は、お手数をおかけしますが、下記 LEC コールセンターまでお問合せください。

ＬＥＣコールセンター
０５７０－０６４－４６４（ナビダイヤル）
固定電話・携帯電話共通（PHS・IP 電話からはご利用できません）
受付時間：平日/9：30～20：00　土・祝/10：00～19：00
日/10：00～18：00
※通話料金はお客様負担となります。予めご了承ください。

◎ 受験願書のお取寄せ・出願について

例年、せっかく学習してきたにもかかわらず、願書を提出し忘れて受験できない方が数名いらっしゃいます。願書のお取り寄せ・ご出願は、ご自身で行ってください。なお、**願書の配布は、例年２月中旬から３月上旬であることが通常です。**

願書のご提出は忘れずに！

試験に関するお問合せ先

国土交通省 土地・建設産業局 地価調査課
TEL：０３－５２５３－８３７８（不動産鑑定士係）

実務修習に関するお問合せ先

公益社団法人 日本不動産鑑定士協会連合会
TEL：０３－３４３４－２３０１（実務修習担当課）

◎論文対策講座「鑑定理論」演習における電卓使用について

論文対策講座「鑑定理論」において、演習問題を扱う下記の講座では、電卓を使用して講義を行います。お手数ですが、各自必ずご用意をお願いいたします。

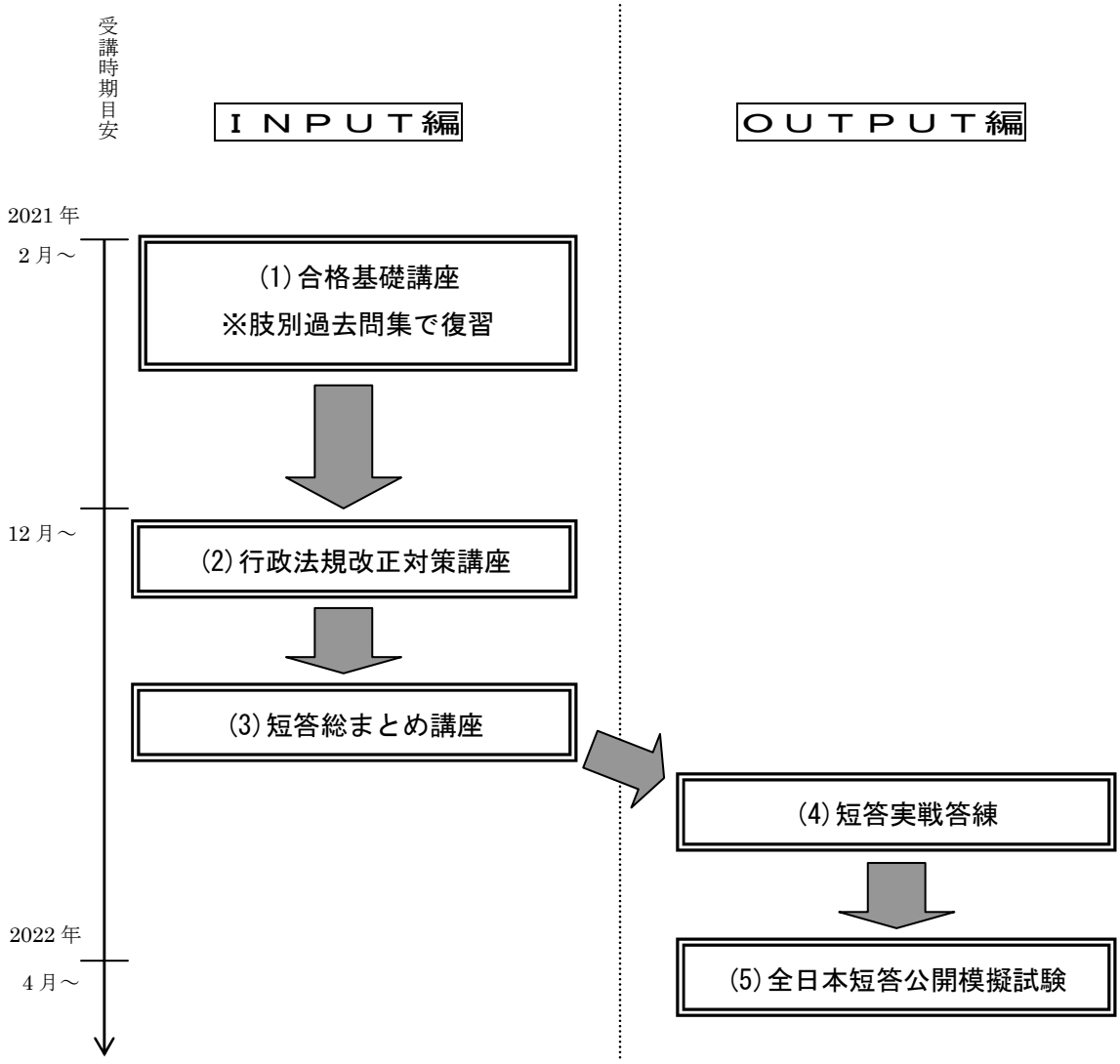
講座名	該当する講義回
鑑定理論演習対策講座・講義編	全６回
鑑定理論演習対策講座・答練編	全２回
論文実戦答練	第４回・第５回
必修論点総ざらい講座	第４回
論文的中答練	第４回・第５回

なお、電卓をお選びいただく際のポイントは次の通りです。

1. 概ね 12 桁まで計算できるもの。
2. 数字の表示が大きく見やすいもの。
3. 最低限「ＧＴ機能」「メモリー機能」がついているもの。
4. ソーラーパワーだけでなく、電池も内蔵しているもの。
5. 紙に記録する機能及びプログラム入力又はプログラム記憶機能のない、計算機能のみのもの（関数電卓は不可）

学習の進め方

【２０２２短答合格コース（全 50 回）】



※各講座の受講時期はあくまでも目安です。受講開始時期により異なります。

「短答合格コース」
具体的な学習の進め方（ＬＥＣ推奨スケジュール）

（1）**合格基礎講座**は、まず鑑定理論を受講して、その後、行政法規を受講してください。

行政法規は追い込みがかけやすい暗記中心の科目となりますので、理解するのに一定の時間を要する鑑定理論から受講いただくことを強くお勧めします。

（1）合格基礎講座の復習には、肢別過去問集を使って知識の定着を図ってください。間違えた箇所は合格基礎テキストに戻って知識の定着を図ります。

ただ、どの時期から学習を開始されたとしても、年内には（1）合格基礎講座を終わらせるように（どんなに遅くても受験年の２月までに）してください。

上記学習が終了したら、**(2) 行政法規改正対策講座**を受講して、改正点を一気に押さえます。その後、**(3) 短答総まとめ講座**を受講して今まで学習してきた知識の再確認を行ってください。

年明け以降は、本格的なアウトプット講座を中心とした学習にシフトします。肢別過去問集を使った問題演習を継続しながら、**(4) 短答実戦答練**を受けて実際の本試験レベルの問題に慣れ、最後に **(5) 全日本短答公開模擬試験**を受けることで、今までの学習の総決算を行います。

上記の学習の進め方は、あくまで一例です。通学クラスの方は、通学スケジュールに沿って学習をこなしていただければ十分に短答式試験に合格できる知識が身に付いていきます。また、通信クラスの方も、通学クラスのスケジュールを参考にして学習を進めていく方法もございます。

科目別カリキュラムの流れと学習時間の目安　※講義時間込み

＜鑑定理論＞　約 300 時間

基礎期

（1）合格基礎講座

完成期

（3）短答総まとめ講座　→（4）短答実戦答練　→（5）全日本短答公開模擬試験

＜行政法規＞　約 200 時間

基礎期

（1）合格基礎講座　→（2）行政法規改正対策講座

完成期

（3）短答総まとめ講座　→（4）短答実戦答練　→（5）全日本短答公開模擬試験

短答対策・各講座のご案内

(1)　合格基礎講座（全 34 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

［鑑定理論］（全 20 回）

使用教材：合格基礎テキスト（鑑定理論）、パワーポイント画面集

復習用教材：肢別鑑定理論　上下巻、モバイル鑑定評価基準

［行政法規］（全 14 回）

使用教材：合格基礎テキスト（行政法規）

復習用教材：肢別行政法規　上下巻

＜概要＞

この講座は、短答合格するために必要な知識を身に付けるためのインプット講座です。

「鑑定理論」では、鑑定評価の手順について具体的なイメージを持つとともに、その前提となる理論を理解するようにしてください。そして、復習では「肢別鑑定理論」を解くことで早い段階から短答式試験の問題に慣れるようにしてください（各回講義が終わる度に肢別過去問集で復習を行うようにしてください）。論文学習も同時並行で行う場合は、この講座を終えてから「鑑定理論・論文ブリッジ講座」を受講してください。

「行政法規」では、まず各法令の全体像のイメージを持っていただいた後、過去に出題されている重要な知識を中心に理解を進めてください（体系的理解）。そして、復習では「肢別行政法規」を解くことで知識の定着を図ってください（まず全回数の講義を終わらせたあとに肢別過去問集で一気に復習を行うようにしてください）。

(2)　行政法規改正対策講座（全 1 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

使用教材：行政法規 改正対策講座レジュメ

＜概要＞

最新の法令改正情報を提供します。改正分野は例年出題可能性の高いものとなりますので、本講座を通じて改正箇所の知識を確実なものとしてください。

短答式試験は、受験年の前年 9 月 1 日時点で施行されている法律が試験範囲となります。

(3) 短答総まとめ講座（全 8 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

［鑑定理論］（全 4 回）

使用教材：短答総まとめテキスト（鑑定理論）

復習用教材：令和 3 年度版 年度別 短答本試験問題集（鑑定理論）

［行政法規］（全 4 回）

使用教材：短答総まとめテキスト（行政法規）

復習用教材：令和 3 年度版 年度別 短答本試験問題集（行政法規）

＜概要＞

今まで学習してきた知識の再確認を行います。講義形式は、問題演習を通した重要知識の総まとめです。「短答総まとめテキスト」は、本試験直前まで使用できるようにまとめられています。また、鑑定理論の計算対策（ここ数年は 40 問中 2 問出題）はこの講座で行います。

(4) 短答実戦答練（全 6 回）※マークシート提出・WEB 解答

【答練・解説講義時間：答練 120 分→解説講義 約 50 分】

［鑑定理論］（全 3 回）

使用教材：問題冊子、解説冊子、マークシート

［行政法規］（全 3 回）

使用教材：問題冊子、解説冊子、マークシート

＜概要＞

本試験レベルの実戦的な答練を通じて知識の更なる定着・向上を図るとともに、本試験への対応力を身に付けます。問題演習を数多くこなすことで、自らの弱点を発見し、直前期に行うべき学習内容を把握するようにしてください。間違えた問題は、必ず合格基礎テキストに戻って復習を行ってください。

全範囲より出題します。また、問題冊子とマークシートは、本試験と同様の仕様で、できる限り本試験を模して作成していますので、WEB 解答を利用される場合でも、まずマークシートにマークをして、本試験仕様に慣れるようにしてください。

(5)　全日本短答公開模擬試験（全１回）※マークシート提出・WEB 解答

【模試・解説講義時間】

行政法規：模試 120 分→解説講義 約 50 分

鑑定理論：模試 120 分→解説講義 約 50 分

使用教材：問題冊子（各科目）、解説冊子（各科目）、マークシート（各科目）

＜概要＞

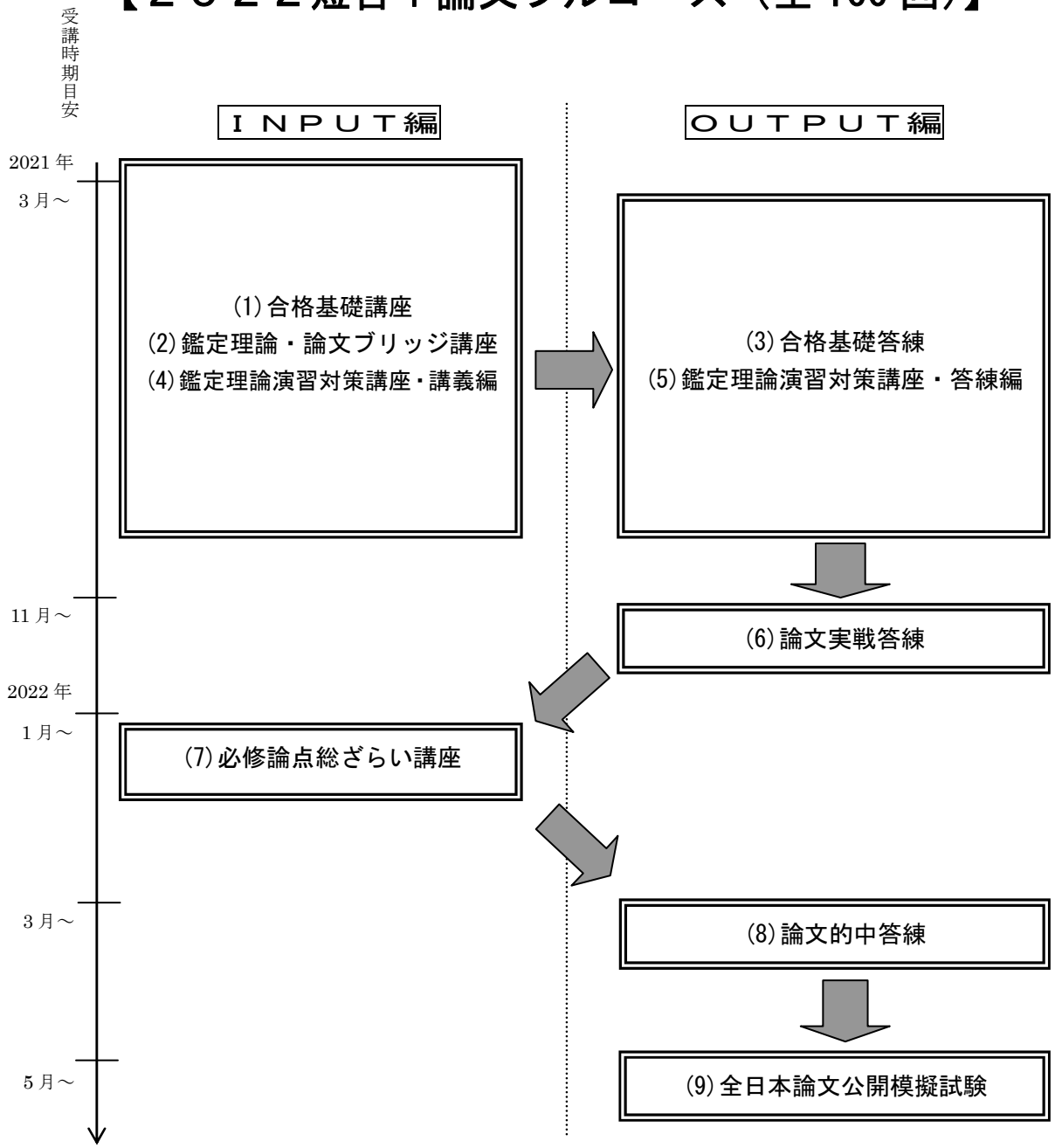
短答式試験に合格するための知識の総決算をします。今までの学習で培ってきた知識で、本試験さながらの問題を解いて、短答式試験直前での自分の合格可能性を把握して、本試験までの残りの期間に学習すべき事項を確認してください。

本試験の予行演習なので、全範囲より出題します。また、短答実戦答練と同様に、問題冊子とマークシートは、本試験と同様の仕様で、できる限り本試験を模して作成していますので、WEB 解答を利用される場合でも、まずマークシートにマークをして、本試験仕様に慣れるようにしてください。

通信クラスの方は、短答式試験と同様の時間帯で解いてみることを強くお勧めします。

学習の進め方

【２０２２短答＋論文フルコース（全 166 回）】



※ 短答対策は「短答合格コース」の学習の進め方（P4）を参照してください。

※ 各講座の受講時期はあくまでも目安です。受講開始時期により異なります。

「短答＋論文フルコース」
具体的な学習の進め方（ＬＥＣ推奨スケジュール）

まず、**合格基礎講座（鑑定理論）**を受講して、次に（1）**合格基礎講座（民法・経済学・会計学 ※以下、教養科目と呼びます）**を受講してください。（1）合格基礎講座（教養科目）は、どの科目から受講いただいても問題ありません。迷われた方は、理解が必要な民法か経済学→暗記色の濃い会計学と受講いただくことをお勧めします。（1）合格基礎講座（教養科目）の受講と復習を終えたタイミングで（3）**合格基礎答練（教養科目）**を受けて、実際に論文式試験ではどのように記述していけばいいのか、基礎的な問題を使って答案を書いてみてください。

合格基礎講座（鑑定理論）の復習がひと通り完了したら、（2）**鑑定理論・論文ブリッジ講座**を受講して、短答で学習した鑑定理論の知識を論文式試験ではどのように書いていけばいいのか、基礎的なテクニックを学びます。その後、（3）**合格基礎答練（鑑定理論）**を受けて、実際に答案を書く練習を行います。さらに、（4）**鑑定理論演習対策講座・講義編**を受講した後に（5）**鑑定理論演習対策講座・答練編**を受けて、演習の独特な出題形式に慣れます。

ここまで終えたら、暗記色の濃い**合格基礎講座（行政法規）**を受講しつつ、同時並行で、実際の論文式試験でそのまま書ける論文対策用の教材「こう書け！」シリーズを使って、論証力の定着を図っていきます。

ポイントは、短答・論文科目の基礎的なインプット講座のうち、最初に合格基礎講座（鑑定理論）を受講、次に（1）合格基礎講座（教養科目）を順に受講、最後に合格基礎講座（行政法規）を受講することです。

上記のインプット講座を中心とした学習を年内までに（どんなに遅くても受験年の 2 月までに）ひと通り終わらせるようにしてください。

これ以降は、本格的なアウトプット講座を中心とした学習にシフトします。最初に（6）**論文実戦答練**を受けて基礎力の確認と応用力を磨きます。次に、（7）**必修論点総ざらい講座**を受講して今まで学習してきたことを文字通り総ざらいします。そして論文対策の答練としては最後となる（8）**論文的中答練**を受けて、本試験レベルで出題可能性の高い問題を解きます。同時並行で、短答対策講座の答練・模試を中心としたアウトプット講座と肢別過去問集も消化します。

短答式試験受験後は、「こう書け！」シリーズを使用した論証力の定着と答練の復習、鑑定理論の基準・留意事項の暗記の精度向上等が中心となります。そして最後の総仕上げとして（9）**全日本論文公開模擬試験**を受けて、知識の再確認を行います。

上記の学習の進め方は、あくまで一例です。通学クラスの方は、通学スケジュールに沿って学習をこなしていただければ十分に最終合格できる知識が身に付いていきます。また、通信クラスの方でも、通学クラスのスケジュールを参考にして学習を進めていく方法もございます。

科目別カリキュラムの流れと学習時間の目安　※講義時間込み

＜鑑定理論＞　約 1,250 時間

基礎期

合格基礎講座　→（2）論文ブリッジ講座　→（3）合格基礎答練　→

（4）演習対策講座・講義編　→（5）演習対策講座・答練編

完成期

（6）論文実戦答練　→【短答】短答総まとめ講座　→【短答】短答実戦答練　→

（7）必修論点総ざらい講座　→（8）論文的中答練　→

【短答】全日本短答公開模擬試験　→（9）全日本論文公開模擬試験

＜会計学＞　約 300 時間

基礎期

（1）合格基礎講座　→（3）合格基礎答練

完成期

（6）論文実戦答練　→（7）必修論点総ざらい講座　→（8）論文的中答練　→

（9）全日本論文公開模擬試験

＜経済学＞　約 350 時間

基礎期

（1）合格基礎講座　→（3）合格基礎答練

完成期

（6）論文実戦答練　→（7）必修論点総ざらい講座　→（8）論文的中答練　→

（9）全日本論文公開模擬試験

＜民法＞　約 400 時間

基礎期

（1）合格基礎講座　→（3）合格基礎答練

完成期

（6）論文実戦答練　→（7）必修論点総ざらい講座　→（8）論文的中答練　→

（9）全日本論文公開模擬試験

＜行政法規＞　約 200 時間

基礎期

【短答】合格基礎講座　→【短答】行政法規改正対策講座

完成期

【短答】短答総まとめ講座　→【短答】短答実戦答練　→【短答】全日本短答公開模擬試験

論文対策・各講座のご案内

(1)　合格基礎講座（全 52 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

［会計学］（全 16 回）

使用教材：合格基礎テキスト（会計学）

復習用教材：「こう書け！」（会計学）

［経済学］（全 18 回）

使用教材：合格バイブル、合格基礎テキスト（経済学）

復習用教材：「こう書け！」（経済学）

［民法］（全 18 回）

使用教材：合格基礎テキスト（民法）、民法条文集

復習用教材：「こう書け！」（民法）

＜概要＞

この講座では、各科目の全体構造とその科目の幹となる部分を理解することからスタートしますので、合格に必要な知識を無理なく確実に習得することができます。試験合格に必要な知識は、各科目の特性に応じて体系的に身に付ける必要があります（論理的思考力）。そのためには、まずは幹となる部分を確実に理解することが重要です。その上で、枝葉の知識を習得しなければ使える知識にはなりません。

また、この後に受ける、答練・模試などの全ての基礎となる講座ですから、1 つ１つの講義を大切に、集中して受講してください。

(2)　鑑定理論・論文ブリッジ講座（全 4 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

使用教材：論文ブリッジテキスト、合格基礎テキスト（鑑定理論）

復習用教材：「こう書け！」（鑑定理論）

＜概要＞

この講座は、鑑定理論の基礎的な学習を終えている方（**「合格基礎講座（鑑定理論）」**等の受講を終えている方）を対象にした講座です。鑑定理論は、短答と論文で問われる知識に大きな違いはありません。一番の違いは、問われ方（短答：マークシート式、論文：記述式）にあります。

この講座では、短答で学習した鑑定理論の知識を、論文式試験ではどのように書いていけばいいのか、基礎的なテクニック（答案構成の仕方）などを学びます。

※短答＋論文フルコース・短答＋論文基礎コースをお申込の方は、必ず「合格基礎講座（鑑定理論）」を受講した後に、本講座を受講してください。

(3) 合格基礎答練（全 8 回） ※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：講義 約 50 分→答練 60 分→解説講義 約 20 分】

［鑑定理論］（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

［会計学］（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

［経済学］（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

［民法］（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

＜概要＞

この答練では、まず問題 1 を扱った解説講義を受講します。そして、問題 1 の類似問題となる問題 2 の答案を作成します。最後に、問題 2 の解説講義を受講します。

具体的には、各科目特有の書き方を学ぶこと、(1) 合格基礎講座 (2) 鑑定理論・論文ブリッジ講座で学習した知識を、答案上に再現する答案構成力・表現力を身に付けることが目標ですので、答練の出来不出来よりも復習を重視してください。

なお、作成した答案については、必ず添削指導を受けてください。全ての答練・模試に言えることですが、解答例と付け合わせをするだけでは十分な学習効果が得られません。実際に作成した答案がどのように評価・採点されるのか、普段から意識する学習を心がけてください。

(4) 鑑定理論演習対策講座（講義編）（全 6 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

使用教材：演習対策テキスト ※電卓を使用します

＜概要＞

講義編では、鑑定理論の計算問題といえる演習問題について、「演習対策テキスト」を使用して、問題文の読み方、基本となる計算処理方法、電卓の効率的な使用方法等を身に付けていただきます。

「演習対策テキスト」には数多くの例題が掲載されていますので、復習においてはそれらの例題を繰り返し解いて、演習問題の基本となる計算処理を正確に、かつ、迅速に行えるようにしてください。

(5)　鑑定理論演習対策講座（答練編）（全 2 回）※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練 120 分→解説講義 約 50 分】

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙　※電卓を使用します

＜概要＞

答練編では、(4) 鑑定理論演習対策講座・講義編で学んだ、計算処理の方法等を 2 時間の答練を通じて、陥りやすい計算ミスや問題文の的確な読み方等を認識することを目的としています。

この答練は、初学者でも解きやすいように基礎的な問題を出題します。今後の実戦的な答練に向けた練習台として、(3) 合格基礎答練と同様に、必ず添削指導を受けてください。

(6)　論文実戦答練（全 14 回）　※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練 120 分→解説講義 約 50 分】

［鑑定理論］（全 5 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙　※第 4 回・第 5 回の答練で電卓を使用します

［会計学］（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

［経済学］（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

［民法］（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

＜概要＞

この答練では、本試験と同様に各科目 2 時間で 2 問（演習は 1 問）の時間配分で実戦的な問題を解き、(1) 合格基礎講座 (2) 論文ブリッジ講座で培った知識を、答案上に表現できる知識になっているかを確認します。

この段階では、徐々に各科目の答案構成のイメージができることを目標にしてください。ただ、まだ自分に実力が備わっていないと不安になり、この講座を受け控えてしまう方が毎年いらっしゃいます。実際に時間を計って問題を解き、思うように答案が書けなくても、本答練を受講することにより、これからどのような学習をしなければならないのか見えてくるものもあります。上記 (1) ～ (5) の講座・答練を受講・復習までをひと通り終えたら、早めに受講するようにしてください。そして、必ず添削指導を受けてください。

(7)　必修論点総ざらい講座（全 14 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

［鑑定理論］（全 4 回）

使用教材：必修論点総ざらいテキスト（鑑定理論）　※第 4 回目の講座で電卓を使用します

［会計学］（全 3 回）

使用教材：必修論点総ざらいテキスト（会計学）

［経済学］（全 4 回）

使用教材：必修論点総ざらいテキスト（経済学）

［民法］（全 3 回）

使用教材：必修論点総ざらいテキスト（民法）

＜概要＞

この講座では、今まで学習してきた論文科目の基本論点や特に重要な論点、また、本試験に出題が予想される論点を、問題集形式のテキストを用いて総ざらいします。忘れかけていた知識やあやふやな分野を、もう一度確認することで確実に合格に近づくことができます。

また、いわゆる B ランクと呼ばれる、普段の学習ではカバーしきれないような細かな論点もこの講座で扱います。

本試験を意識して、直前期の学習の指針として活用してください。

(8)　論文的中答練（全 14 回）　※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練 120 分→解説講義 約 50 分】

［鑑定理論］（全 5 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙　※第 4 回、第 5 回目の答練で電卓を使用します

［会計学］（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

［民法］（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

［経済学］（全 3 回）

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙

＜概要＞

（7）必修論点総ざらい講座を受講した後、知識を正確に思い出せるか、限られた時間内に答案を作成できるかを確認するとともに、本試験で出題が予想される論点を確実なものとする講座です。近年の出題傾向・試験委員を踏まえた本試験レベルの問題を出題します。

科目によっては歯ごたえのある問題を出題することもありますが、今までの学習で培ってきた知識をもとに、絶対に白紙にしないことを心がけて答案作成力を高めてください。これが最後の答練となります。必ず添削指導を受けてください。

(9)　全日本論文公開模擬試験（全２回）　※答案提出・添削あり

【模試・解説講義時間】

民法：模試 120 分→解説講義 約 30 分

経済学：模試 120 分→解説講義 約 30 分

会計学：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（論文Ⅰ）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（論文Ⅱ）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

鑑定理論（演習）：模試 120 分→解説講義 約 30 分

使用教材：問題用紙（各科目）、総合解説冊子、解答用紙（各科目）

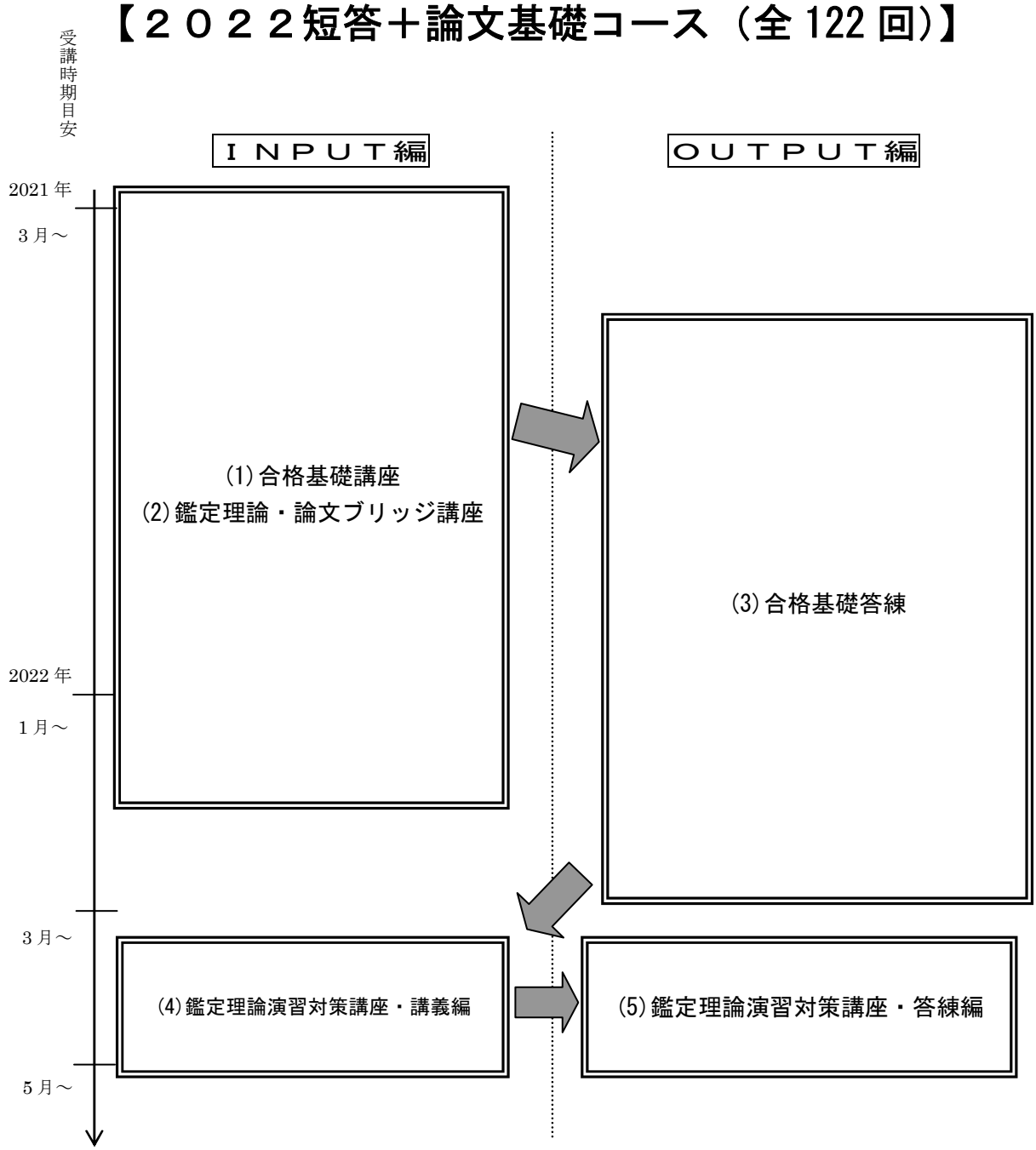
＜概要＞

本講座において、論文式試験に向けての総決算をします。本試験レベルの問題を直前期に解き、現時点での合格可能性を判定します。そして、この合格可能性をもとに本試験までに学習すべき事項を再確認してラストスパートの指針としてください。

通信クラスの方は、論文式試験と同様の時間帯・日程で解いてみることを強くお勧めします。

学習の進め方

【２０２２短答＋論文基礎コース（全 122 回）】



※ 短答対策は「短答合格コース」の学習の進め方（P4）を参照してください。

※ 各講座の受講時期はあくまでも目安です。受講開始時期により異なります。

「短答＋論文基礎コース」

具体的な学習の進め方（ＬＥＣ推奨スケジュール）

※2022 年短答式試験、2023 年論文式試験を目指す場合
→2022 年論文式試験を目指す方は「短答＋論文フルコース」に準じます

まずは、**合格基礎講座（鑑定理論）**を受講してください。次に、**(1) 合格基礎講座（民法・経済学・会計学 ※以下、教養科目と呼びます）**と無理のないスケジュール（週 1～2 回ペース）で受講します。(1) 合格基礎講座（教養科目）の各科目の受講を終えたタイミングで、**(3) 合格基礎答練（教養科目）**を受けて、実際に論文式試験ではどのように記述していけばいいのか、基礎的な問題を使って答案を書いてみてください。

合格基礎講座（鑑定理論）の受講・復習が完了したら、**合格基礎講座（行政法規）**を受講します。あくまで短答学習に軸を置くことがポイントです。合格基礎講座（鑑定理論）の復習にめどがついた段階で、**(2) 鑑定理論・論文ブリッジ講座**を受講して、短答で学習した鑑定理論の知識を、論文式試験ではどのように書いていけばいいのか、基礎的なテクニックを学びます。その後、**(3) 合格基礎答練（鑑定理論）**を受講して、基礎的な問題を使って答案を書く練習を行います。さらに、**(4) 鑑定理論演習対策講座・講義編**を受講した後に**(5) 鑑定理論演習対策講座・答練編**を受けて、演習の独特な出題形式に慣れます。

上記の学習のうち、(1) ～ (5) は、短答対策の受講（短答合格コースの学習の進め方を参照してください）に支障をきたさない程度におさえてください。

上記の学習の進め方は、あくまで一例です。通学クラスの方は、通学スケジュールに沿って学習をこなしていただければ十分に最終合格できる知識が身に付いていきます。また、通信クラスの方でも、通学クラスのスケジュールを参考にして学習を進めていく方法もございます。

論文対策講座(Web 講座)は、2022 年 12 月 31 日まで視聴することができます（教えてチューターの質問期限・成績表や添削答案の閲覧期限は、視聴期限に準じます）。特に、2023 年論文式試験を目指す方は、この視聴期限をフルに活用いただいて学習計画を立てる方法もあります。

また、「短答＋論文基礎コース」には、論文対策のアウトプット講座が含まれておりません。論文式試験に向けた学習を完成させるには、「論文アウトプットコース※」を別途お申込いただく必要がございます。

2022 年論文式試験を目指す方は、2022 年向け「論文アウトプットコース※」を、2023 年論文式試験を目指す方は、2023 年向け「論文アウトプットコース※」を別途お申込ください。

※2021 年合格目標のコースでは「論文徹底強化コース」「論文集中強化コース」が該当します。コース名は年度により変更する場合がありますので、詳細はパンフレットにてご確認ください。

科目別カリキュラムの流れと学習時間の目安　※講義時間込み

＜鑑定理論＞　約 750 時間

基礎期

合格基礎講座　→（2）論文ブリッジ講座　→（3）合格基礎答練　→

（4）演習対策講座・講義編　→（5）演習対策講座・答練編

完成期

【短答】短答総まとめ講座　→【短答】短答実戦答練　→【短答】全日本短答公開模擬試験

＜行政法規＞　約 200 時間

基礎期

【短答】合格基礎講座　→【短答】行政法規改正対策講座

完成期

【短答】短答総まとめ講座　→【短答】短答実戦答練　→【短答】全日本短答公開模擬試験

＜会計学＞　約 150 時間

基礎期

（1）合格基礎講座　→（3）合格基礎答練

＜経済学＞　約 200 時間

基礎期

（1）合格基礎講座　→（3）合格基礎答練

＜民法＞　約 200 時間

基礎期

（1）合格基礎講座　→（3）合格基礎答練

論文対策・各講座のご案内

(1)　合格基礎講座（全 52 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

［会計学］（全 16 回）

使用教材：合格基礎テキスト（会計学）

復習用教材：「こう書け！」（会計学）

［経済学］（全 18 回）

使用教材：合格バイブル、合格基礎テキスト（経済学）

復習用教材：「こう書け！」（経済学）

［民法］（全 18 回）

使用教材：合格基礎テキスト（民法）、民法条文集

復習用教材：「こう書け！」（民法）

＜概要＞

この講座では、各科目の全体構造とその科目の幹となる部分を理解することからスタートしますので、合格に必要な知識を無理なく確実に習得することができます。試験合格に必要な知識は、各科目の特性に応じて体系的に身に付ける必要があります（論理的思考力）。そのためには、まずは幹となる部分を確実に理解することが重要です。その上で、枝葉の知識を習得しなければ使える知識にはなりません。

また、この後に受ける、答練・模試などの全ての基礎となる講座ですから、1 つ１つの講義を大切に、集中して受講してください。

(2)　鑑定理論・論文ブリッジ講座（全 4 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

使用教材：論文ブリッジテキスト、合格基礎テキスト（鑑定理論）

復習用教材：「こう書け！」（鑑定理論）

＜概要＞

この講座は、鑑定理論の基礎的な学習を終えている方（**「合格基礎講座（鑑定理論）」**等の受講を終えている方）を対象にした講座です。鑑定理論は、短答と論文で問われる知識に大きな違いはありません。一番の違いは、問われ方（短答：マークシート式、論文：記述式）にあります。

この講座では、短答で学習した鑑定理論の知識を、論文式試験ではどのように書いていけばいいのか、基礎的なテクニック（答案構成の仕方）などを学びます。

※短答＋論文フルコース・短答＋論文基礎コースをお申込の方は、必ず「合格基礎講座」（鑑定理論）を受講した後に、本講座を受講してください。

(3) 合格基礎答練（全 8 回） ※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：講義 約 50 分→答練 60 分→解説講義 約 20 分】

［鑑定理論］（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

［会計学］（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

［経済学］（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

［民法］（全 2 回）

使用教材：問題用紙、解答用紙、解説冊子

＜概要＞

この答練では、まず問題 1 を扱った解説講義を受講します。そして、問題 1 の類似問題となる問題 2 の答案を作成します。最後に、問題 2 の解説講義を受講します。

具体的には、各科目特有の書き方を学ぶこと、(1) 合格基礎講座 (2) 鑑定理論・論文ブリッジ講座で学習した知識を、答案上に再現する答案構成力・表現力を身に付けることが目標ですので、答練の出来不出来よりも復習を重視してください。

なお、作成した答案については、必ず添削指導を受けてください。全ての答練・模試に言えることですが、解答例と付け合わせをするだけでは十分な学習効果が得られません。実際に作成した答案がどのように評価・採点されるのか、普段から意識する学習を心がけてください。

(4) 鑑定理論演習対策講座（講義編）（全 6 回）

【講義時間：約 2.5 時間（約 35 分×4 ユニット）】

使用教材：演習対策テキスト ※電卓を使用します

＜概要＞

講義編では、鑑定理論の計算問題といえる演習問題について、「演習対策テキスト」を使用して、問題文の読み方、基本となる計算処理方法、電卓の効率的な使用方法等を身に付けていただきます。

「演習対策テキスト」には数多くの例題が掲載されていますので、復習においてはそれらの例題を繰り返し解いて、演習問題の基本となる計算処理を正確に、かつ、迅速に行えるようにしてください。

(5)　鑑定理論演習対策講座（答練編）（全 2 回）※答案提出・添削あり

【答練・解説講義時間：答練 120 分→解説講義 約 50 分】

使用教材：問題用紙、解説冊子、解答用紙　※電卓を使用します

＜概要＞

答練編では、(4) 鑑定理論演習対策講座・講義編で学んだ、計算処理の方法等を 2 時間の答練を通じて、陥りやすい計算ミスや問題文の的確な読み方等を認識することを目的としています。

この答練は、初学者でも解きやすいように基礎的な問題を出題します。今後の実戦的な答練に向けた練習台として、(3) 合格基礎答練と同様に、必ず添削指導を受けてください。

2022年受験向け 通信クラス スケジュール(短答対策)

講座名	科目	教材	Web配信・音声DL・教材発送開始日	マークシート提出 WEB解答入力 最終〆切(必着)
合格基礎講座 (全34回)	鑑定理論 (20回)	合格基礎テキスト パワーポイント画面集 肢別鑑定理論 上下巻 モバイル鑑定評価基準	2021.1.28(木)	−
	行政法規 (14回)	合格基礎テキスト 肢別鑑定理論 上下巻	2021.7.29(木)	
行政法規改正対策講座 (全1回)	行政法規	改正対策講座レジュメ	2021.12.23(木)	−
短答総まとめ講座 (全8回)	鑑定理論 (4回)	短答総まとめテキスト 令和3年度版 年度別 短答本試験問題集	2021.12.23(木)	−
	行政法規 (4回)	短答総まとめテキスト 令和3年度版 年度別 短答本試験問題集		
短答実戦答練 (全6回)	鑑定理論 (3回)	問題冊子・解説冊子 マークシート	2022.2.17(木)	2022.4.15(金)
	行政法規 (3回)	問題冊子・解説冊子 マークシート		
全日本短答公開模擬試験 (全1回)	全2科目	問題冊子・解説冊子 マークシート	2022.3.24(木)	2022.4.15(金)

※短答対策 Web配信・音声DL期限:2022.5.31(火)

●各講座各科目のWeb配信・音声DL・教材発送開始日に、全回数分まとめて配信・発送します。
●マークシート・WEB解答入力の最終〆切は、必着・入力期限日です。これ以降に到着・入力したものは原則として成績処理ができません。
●教えてチューターやスコアオンライン等のフォロー制度の期限は、Web配信・音声DL期限に準じます。

2022年受験向け 通信クラス スケジュール(論文対策)

講座名	科目	教材	Web配信・音声DL・教材発送開始日	論文答案提出 一次〆切(目標)	論文答案提出 最終〆切(必着)
合格基礎講座 (全52回)	会計学 (16回)	合格基礎テキスト 「こう書け！」	2021.2.25(木)	－	
	経済学 (18回)	合格基礎テキスト 合格バイブル 「こう書け！」	2021.3.25(木)		
	民法 (18回)	合格基礎テキスト 民法条文集 「こう書け！」	2021.4.22(木)		
鑑定理論・論文ブリッジ講座 (全4回)	鑑定理論	合格基礎テキスト 論文ブリッジテキスト 「こう書け！」	2021.2.25(木)	－	
鑑定理論演習対策講座・講義編 (全6回)	鑑定理論	演習対策テキスト	2021.3.25(木)	－	
鑑定理論演習対策講座・答練編 (全2回)	鑑定理論	問題用紙・解答用紙 解説冊子		2021.12.10(金)	2022.7.1(金)
合格基礎答練 (全8回)	鑑定理論 (2回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2021.2.25(木)	2021.12.10(金)	2022.7.1(金)
	会計学 (2回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
	経済学 (2回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2021.3.25(木)		
	民法 (2回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2021.4.22(木)		
★論文実戦答練 (全14回)	会計学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2021.10.28(木)	2022.1.7(金)	2022.7.1(金)
	経済学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
	鑑定理論 (5回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2021.11.25(木)	2022.2.4(金)	
	民法 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
★必修論点総ざらい講座 (全14回)	会計学 (3回)	必修論点 総ざらいテキスト	2021.12.23(木)	－	
	経済学 (4回)	必修論点 総ざらいテキスト			
	民法 (3回)	必修論点 総ざらいテキスト	2022.1.27(木)		
	鑑定理論 (4回)	必修論点 総ざらいテキスト			
★論文的中答練 (全14回)	鑑定理論 (5回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2022.3.3(木)	2022.4.22(金)	2022.7.1(金)
	民法 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
	会計学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子	2022.4.14(木)	2022.6.3(金)	
	経済学 (3回)	問題用紙・解答用紙 解説冊子			
★全日本論文公開模擬試験 (全2回)	第1回目	問題用紙・解答用紙	2022.5.19(木)	2022.6.10(金)	
		解説冊子	2022.6.9(木)		
	第2回目	問題用紙・解答用紙	2022.6.9(木)	2022.7.1(金)	
		解説冊子	2022.6.30(木)		

◎論文対策 Web配信・音声DL期限：2022.12.31（土）

※★印の講座は、「短答＋論文基礎コース」に含まれない講座です。

●各講座各科目のWeb配信・音声DL・教材発送開始日に、全回数分まとめて配信・発送します。
●論文答案の提出（一次〆切）は、LECが推奨する提出日(目標)です。できるだけこの一次〆切に間に合うように学習計画を立ててください。
●論文答案の提出（最終〆切）は、LEC必着日です。これ以降に到着したものは原則として成績処理・添削ができません。
●教えてチューターやスコアオンライン等のフォロー制度の期限は、Web配信・音声DL期限に準じます。

2022年受験向け 水道橋本校 通学クラス スケジュール（短答対策）

■合格基礎講座

5月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～12:30① 13:30～16:00②	
鑑定理論	1	2021.5.23(日)	①
	2	5.23(日)	②
	3	5.30(日)	①
	4	5.30(日)	②
	5	6.6(日)	①
	6	6.6(日)	②
	7	6.13(日)	①
	8	6.13(日)	②
	9	6.20(日)	①
	10	6.20(日)	②
	11	6.27(日)	①
	12	6.27(日)	②
	13	7.4(日)	①
	14	7.4(日)	②
	15	7.11(日)	①
	16	7.11(日)	②
	17	7.18(日)	①
	18	7.18(日)	②
	19	7.25(日)	①
	20	7.25(日)	②
行政法規	1	8.22(日)	①
	2	8.22(日)	②
	3	8.29(日)	①
	4	8.29(日)	②
	5	9.5(日)	①
	6	9.5(日)	②
	7	9.12(日)	①
	8	9.12(日)	②
	9	9.19(日)	①
	10	9.19(日)	②
	11	9.26(日)	①
	12	9.26(日)	②
	13	10.3(日)	①
	14	10.3(日)	②

8月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～12:30① 13:30～16:00②	
行政法規	1	2021.8.22(日)	①
	2	8.22(日)	②
	3	8.29(日)	①
	4	8.29(日)	②
	5	9.5(日)	①
	6	9.5(日)	②
	7	9.12(日)	①
	8	9.12(日)	②
	9	9.19(日)	①
	10	9.19(日)	②
	11	9.26(日)	①
	12	9.26(日)	②
	13	10.3(日)	①
	14	10.3(日)	②
鑑定理論	1	10.24(日)	①
	2	10.24(日)	②
	3	10.31(日)	①
	4	10.31(日)	②
	5	11.7(日)	①
	6	11.7(日)	②
	7	11.14(日)	①
	8	11.14(日)	②
	9	11.21(日)	①
	10	11.21(日)	②
	11	11.28(日)	①
	12	11.28(日)	②
	13	12.5(日)	①
	14	12.5(日)	②
	15	12.12(日)	①
	16	12.12(日)	②
	17	12.19(日)	①
	18	12.19(日)	②
	19	12.26(日)	①
	20	12.26(日)	②

10月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～12:30① 13:30～16:00②	
鑑定理論	1	2021.10.24(日)	①
	2	10.24(日)	②
	3	10.31(日)	①
	4	10.31(日)	②
	5	11.7(日)	①
	6	11.7(日)	②
	7	11.14(日)	①
	8	11.14(日)	②
	9	11.21(日)	①
	10	11.21(日)	②
	11	11.28(日)	①
	12	11.28(日)	②
	13	12.5(日)	①
	14	12.5(日)	②
	15	12.12(日)	①
	16	12.12(日)	②
	17	12.19(日)	①
	18	12.19(日)	②
	19	12.26(日)	①
	20	12.26(日)	②
行政法規	1	2022.1.9(日)	①
	2	1.9(日)	②
	3	1.16(日)	①
	4	1.16(日)	②
	5	1.23(日)	①
	6	1.23(日)	②
	7	1.30(日)	①
	8	1.30(日)	②
	9	2.6(日)	①
	10	2.6(日)	②
	11	2.13(日)	①
	12	2.13(日)	②
	13	2.20(日)	①
	14	2.20(日)	②

※行政法規改正対策講座は通信講座となります。

■短答総まとめ講座

2月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～12:30① 13:30～16:00②	
鑑定理論	1	2022.2.27(日)	①
	2	2.27(日)	②
	3	3.6(日)	①
	4	3.6(日)	②
行政法規	1	3.13(日)	①
	2	3.13(日)	②
	3	3.20(日)	①
	4	3.20(日)	②

■短答実戦答練

3月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～13:00① 14:00～17:00②	
行政法規	1	2022.3.27(日)	①
	2	4.3(日)	①
	3	4.10(日)	①
鑑定理論	1	3.27(日)	②
	2	4.3(日)	②
	3	4.10(日)	②

■全日本短答公開模擬試験

全1回	
解説Web/DVD	
2022.4.17(日)	
実施時間	10:00～12:00
	行政法規
	13:30～15:30
	鑑定理論

模擬試験実施本校

水道橋本校/札幌本校/富山本校/
金沢校/静岡本校/梅田駅前本校/
京都駅前本校/神戸本校/岡山本校/
広島本校/山口本校/高松本校/
福岡本校/那覇本校

●テキストはご自宅よりご持参ください（答練・模試を除く）。●通学スケジュールが終了している科目は、Web・音声DL・DVDでご受講ください。●実施スケジュールは、事前の予告なく変更または中止する場合があります。また、参加人数が5名以下の場合はやむを得ず他の受講形態へ変更または中止する場合があります。予めご了承ください。●欠席した場合の配布物の受領可能期間は当該実施日を含めて1ヶ月間とし、それ以降はお渡しできません（LEC申込規定第9条5項）。

2022年受験向け 水道橋本校 通学クラス スケジュール（論文対策）

■合格基礎講座

7月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～12:30① 13:30～16:00②	
経済学	1	2021.7.3(土)	①
	2	2021.7.3(土)	②
	3	7.10(土)	①
	4	7.10(土)	②
	5	7.17(土)	①
	6	7.17(土)	②
	7	7.24(土)	①
	8	7.24(土)	②
	9	7.31(土)	①
	10	7.31(土)	②
	11	8.7(土)	①
	12	8.7(土)	②
	13	8.21(土)	①
	14	8.21(土)	②
	15	8.28(土)	①
	16	8.28(土)	②
	17	9.4(土)	①
	18	9.4(土)	②
民法	1	10.2(土)	①
	2	10.2(土)	②
	3	10.9(土)	①
	4	10.9(土)	②
	5	10.16(土)	①
	6	10.16(土)	②
	7	10.23(土)	①
	8	10.23(土)	②
	9	10.30(土)	①
	10	10.30(土)	②
	11	11.6(土)	①
	12	11.6(土)	②
	13	11.13(土)	①
	14	11.13(土)	②
	15	11.20(土)	①
	16	11.20(土)	②
	17	11.27(土)	①
	18	11.27(土)	②

※会計学は通信講座となります。
※合格基礎答練は通信講座となります。各科目全回数終了後に受講してください。

■鑑定理論演習対策講座

9月生			
生クラス			
編	回数	10:00～12:30① 13:30～16:00②	
講義編	1	2021.9.11(土)	①
	2	9.11(土)	②
	3	9.18(土)	①
	4	9.18(土)	②
	5	9.25(土)	①
	6	9.25(土)	②

※答練編は通信講座となります。全回数終了後に受講してください。

■論文実戦答練★

12月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～13:00① 14:00～17:00②	
会計学	1	2021.12.11(土)	①
	2	12.18(土)	①
	3	12.25(土)	①
経済学	1	12.11(土)	②
	2	12.18(土)	②
	3	12.25(土)	②
鑑定理論	1	2022.1.8(土)	①
	2	1.8(土)	②
	3	1.15(土)	②
	4	1.22(土)	②
	5	1.29(土)	②
民法	1	1.15(土)	①
	2	1.22(土)	①
	3	1.29(土)	①

■必修論点総ざらい講座★

2月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～12:30① 13:30～16:00②	
会計学	1	2022.2.5(土)	①
	2	2.5(土)	②
	3	2.12(土)	①
経済学	1	2.12(土)	②
	2	2.19(土)	①
	3	2.19(土)	②
	4	2.26(土)	①
民法	1	2.26(土)	②
	2	3.5(土)	①
	3	3.5(土)	②
鑑定理論	1	3.12(土)	①
	2	3.12(土)	②
	3	3.19(土)	①
	4	3.19(土)	②

■論文的中答練★

3月生			
生クラス			
科目	回数	10:00～13:00① 14:00～17:00②	
鑑定理論	1	2022.3.26(土)	①
	2	3.26(土)	②
	3	4.2(土)	②
	4	4.9(土)	②
	5	4.16(土)	②
民法	1	4.2(土)	①
	2	4.9(土)	①
	3	4.16(土)	①
会計学	1	5.14(土)	①
	2	5.21(土)	①
	3	5.28(土)	①
経済学	1	5.14(土)	②
	2	5.21(土)	②
	3	5.28(土)	②

■全日本論文公開模擬試験★

全2回		
解説Web/DVD		
回数	実施日時	
1	2022.6.11(土)	2022.6.12(日)
2	2022.7.2(土)	2022.7.3(日)
科目	10:00～12:00	
	民法	鑑定理論(論文)
	13:30～15:30	
	経済学	鑑定理論(論文)
	16:00～18:00	
	会計学	鑑定理論(演習)

模擬試験実施本校
水道橋本校/
富山本校/金沢校/静岡本校/
梅田駅前本校/京都駅前本校/
神戸本校/岡山本校/広島本校/
高松本校/福岡本校

※★印の講座は、「短答＋論文基礎コース」に含まれない講座です。

●テキストはご自宅よりご持参ください（答練・模試を除く）。
●通学スケジュールが終了している科目は、Web・音声DL・DVDでご受講ください。
●実施スケジュールは、事前の予告なく変更または中止する場合があります。また、参加人数が5名以下の場合はやむを得ず他の受講形態へ変更または中止する場合があります。予めご了承ください。
●欠席した場合の配布物の受領可能期間は当該実施日を含めて1ヶ月間とし、それ以降はお渡しできません（LEC申込規定第9条5項）。

【Web 講座の視聴期限・成績表や添削答案の閲覧期限】

Web 視聴/音声ＤＬ/スマホ視聴期限・成績表や添削答案の閲覧期限は、以下の通りです。

短答対策：**2022 年 5 月 31 日（火）まで**

論文対策：**2022 年 12 月 31 日（土）まで**

【教えてチューター】

コース受講生には、ネットから講師に直接質問できる「教えてチューター」が標準装備されています（回数制限なし）。質問期限は、上記 Web 講座の視聴期限に準じます。

ご回答には、**1 週間～10 日程度**かかります。また、年末年始・夏季休暇期間はさらにお時間を要する場合があります。

【レジュメ・講義板書について】

講座や科目によってはレジュメ・講義板書等がつくものがあります。

【お知らせ・訂正情報等について】

講座や教材についてのお知らせ・訂正情報等は下記不動産鑑定士サイト内のページよりご確認ください。

http://www.lec-jp.com/kanteishi/info/teisei/

【欠品および画像の不良など】

万一、教材に欠品がある、画像や音声に不良があるなどの場合は大変お手数ですが下記までご連絡ください。

不良の程度が著しく、学習上支障をきたすと認められる場合は、お取替えさせていただきます。

ＬＥＣ東京リーガルマインド　コールセンター
０５７０－０６４－４６４（ナビダイヤル）
固定電話・携帯電話共通（PHS・IP 電話からはご利用できません）
受付時間：平日/09：30～20：00　土・祝/10：00～19：00
日/10：00～18：00
※通話料金はお客様負担となります。予めご了承ください。

「答練・模試」受講上の注意事項

【短答式対策】

１．概要

◎「短答実戦答練」「全日本短答公開模擬試験」

解答方法：マークシート提出または WEB 解答
解答時間：各科目 120 分
問題数：各科目 40 問
出題範囲：全範囲
解説講義：各科目 約 50 分

２．解答の提出方法

【通学】解答終了後、受講地でマークシートを提出してください。
【通信】マークシート提出：解答の上、期日までに郵送してください。
WEB解答:Myページ スコアオンライン上で期日までに入力してください。

３．解答時の注意

①マークシートには、黒鉛筆（ＨＢ又はＢ）・消しゴム（プラスチック製）を使用して解答してください。
②マークシートには、必要事項（受講地・氏名・受講証番号・科目・回数等）を必ず記載してください。
③WEB 解答の場合、マークシートの提出は不要ですが、本試験では必ずマークシートにて解答します。本試験の予行演習も兼ねて、まずマークシートに解答を記入してから WEB 解答入力をするようにしてください。

４．成績表の返却方法

成績表は My ページ スコアオンライン上でご覧いただけます。閲覧には必ず My ページへの登録が必要です。登録方法は巻末にてご確認ください。
郵送返却オプションをお申込の方には、郵送にて成績表を送付します。

５．マークシート提出締切日・WEB 解答入力期限

全ての答練・模試のマークシート提出締切日・WEB 解答入力期限は、**2022 年 4 月 15 日（金）（必着）**です。
期日を過ぎてから提出された場合は、原則として成績処理ができません。

【論文式対策】

１．概要

◎「合格基礎答練」

講義時間：各科目 各回 約 50 分
解答時間：各科目 各回 60 分
問題数：各科目 各回 1 問
出題範囲：前半の講義内容を踏まえた問題
解説講義：各科目 各回 約 20 分

◎「鑑定理論演習対策講座・答練編」

解答時間：各回 120 分
問題数：各回 1 問
出題範囲：講義編の内容を踏まえた問題
解説講義：各回 約 50 分

◎「論文実戦答練」

解答時間：各科目 各回 120 分
問題数：各科目 各回 2 問 ※鑑定理論・演習は 1 問
出題範囲：出題範囲指定
解説講義：各科目 各回 約 50 分

◎「論文的中答練」

解答時間：各科目 各回 120 分
問題数：各科目 各回 2 問 ※鑑定理論・演習は 1 問
出題範囲：全範囲
解説講義：各科目 各回 約 50 分

◎「全日本論文公開模擬試験」

解答時間：各科目 120 分 ※鑑定理論は、論文 120 分×2、演習 120 分
問題数：各科目 2 問 ※鑑定理論は、論文 4 問、演習 1 問
出題範囲：全範囲
解説講義：各科目 約 30 分 ※鑑定理論は、論文 約 30 分×2、演習 約 30 分

２．答案作成時の注意

① ボールペンまたは万年筆（黒インクまたは青インク）を使用してください。それ以外で書くと無効となります。消しゴム等で消えるボールペンは不可です。

② 修正液等の使用はできません。訂正がある場合には、二重線を引くなどして訂正してください。

③ 解答用紙の余白、得点欄やコメント欄は、必ず空白のままにしてください。質問などは「教えてチューター」（コース生のみ）を利用してください。

④ 解答用紙の記入事項（受講地・氏名・受講証番号・科目・回数・問題番号等）

は、必ず全て記入してください。

⑤ 会計学と鑑定理論（演習）は、電卓の使用が認められています。また、会計学と鑑定理論（演習）は、専用の解答用紙（合格基礎答練を除く）にて解答してください（経済学でも専用の解答用紙がある場合もあります）。

⑥ テキストや解説レジュメ等を参照して解答を作成した場合や、制限解答時間を超えて解答を作成した場合は、解答用紙 1 頁右上のチェック欄にチェックをいれてください。添削の際に参考とします。

⑦ 論文免除科目につきましては、国土交通省が取扱方法について具体的に発表していないため、平均点を付与する等の特別な対応を行っておりませんので（0点として取り扱います）、解答用紙を提出する必要はありません。

３．答案の提出方法

【通学】解答終了後、受講地で解答用紙を提出してください。

【通信】解答の上、解答用紙を期日までに郵送してください。

４．答案の返却方法

採点した添削答案は My ページ スコアオンライン上でご覧いただけます。閲覧には必ず My ページへの登録が必要です。

郵送返却オプションをお申込の方には、郵送にて添削答案を送付します。

なお、模試を除く各種答練では、講評および総合成績表の発行はございませんが、公式ブログ(http://leckanteishi.blog.fc2.com/)にて、通学クラスの平均点・最高点・講評を随時 UP します（合格基礎答練と演習対策講座・答練編を除く）。

５．合格答案の My ページ スコアオンライン上 UP（全日本論文公開模擬試験のみ）

添削した答案の中から、合格答案として各科目 1 通選択し、総合成績表とともに My ページ スコアオンライン上に UP します。その際は、お名前等を伏せて、個人が特定できないように十分配慮します。

合格答案とは、実際の本試験において、一般的な合格者なら十分解答可能な記述量・記述内容で、合格点＋α であると推測される答案を言います。優秀答案ではありません。

６．答案添削の最終締切日

提出期限は、**2022 年 7 月 1 日（金）（必着）**です。

≪全日本論文公開模擬試験 第 1 回のみ、2022 年 6 月 10 日（金）（必着）≫

期限を過ぎてから提出された場合は、原則として添削ができません。

（注）通学クラスにて受講される場合、問題冊子・解説冊子等の配布物は、通学クラス実施本校にて、通学クラスの実施日に配布します。

なお、通学クラスの実施日に欠席された場合は、実施日を含めて１ヶ月間、通学クラス実施本校にて配布物を受け取ることができます。

【メモ】

Web講座

合格のれっくLEC

OnlineStudy SP

LEC Myページのご案内

資格取得をサポートする便利なサービス「LEC Myページ」。
講義を受けたり、模擬試験を受けたり、LEC各種サービスをご利用するために、便利な機能・情報が1ヵ所に集まった、あなたの専用ページです。
ご購入履歴・GO!GO!ポイントの確認、お客様情報の変更などの各種お手続きをLEC Myページ上で行うことができます。
割引クーポンの入手、試験情報など、うれしい特典が満載!
とっても便利!もちろん登録料・利用料ともに無料です!

Myページ ログイン情報記入欄

会員番号（Lカード番号）	
MyページID	
パスワード	

※書き留めて頂くことをお勧めします。

ご利用上の注意事項

■講座の視聴期間について

- Web講座の視聴期間は、スケジュール冊子にてご案内しております。また視聴日数が予め指定されている講座の場合は、その視聴日数の最終日までとなります。
- 視聴開始日より前、視聴終了日より後にはご受講いただけませんのでご注意ください。
- 「LEC本校」でお申込み頂いた場合は、申込手続完了後、すぐにご受講いただけます。
  ※「オンラインショップ」でお申込み頂いた場合は、「発送のない商品」をお申込みの場合に限り、申込手続完了後、すぐにご受講いただけます。それ以外のお申込みの場合は、受講証の到着をお待ちください。

■OnlineStudySPの動作環境について

端末の環境によっては、動作環境を満たされていてもご利用いただけない場合がございます。必ず「動作環境チェック」の項目にある「デモ体験」を行い、実際にWeb学習システムがご利用いただけるかご確認ください。
詳しくは「OnlineStudySP動作環境のご案内」をご覧ください。
http://www.lec-jp.com/tsushin/check/index.html

■お問合せ・よくある質問について

その他、ご不明な点がございましたら「お問合せ・よくある質問」をご覧ください。
「お問合せ・よくある質問」 ⇒ http://faq.lec-jp.com/

Web講座の受講方法

Web講座の受講開始までの流れは以下の通りです。

Step1 お申込み ⇨ Step2 Myページ会員登録 ⇨ Step3 Myページへログイン ⇨ Step4 講座の受講方法

Step1 お申込

LEC各本校の他、オンラインショップ、コールセンターでもお申込みいただけます。

［通学・通信・書籍のお申込み］ LEC本校（全校学校案内） **http://www.lec-jp.com/school/**

オンラインショップ **http://online.lec-jp.com/**

［通信・書籍のお申込み］ コールセンター **ナビダイヤル 0570-064-464**（PHS・IP電話からはご利用できません）

受付時間　平日／9:30～20:00　土・祝／10:00～19:00　日／10:00～18:00

Step2 Myページ会員登録

Myページを初めてご利用になる場合に限り、Myページ会員登録が必要です。

※既にMyページ登録（MyページID取得）が済んでいる方は、Step3にお進みください。

① LECのホームページにアクセスしてください。

http://www.lec-jp.com/

右のような画面が表示されます。

画面上部の「Myページログイン」をクリック！

② 「Myページログイン」画面に変わったら、

「Myページ登録」欄にある「登録する」ボタンをクリック！

③ 会員登録画面が表示されたら、

「会員番号」と「メールアドレス」を入力して、「お客様情報を検索」ボタンをクリック！

登録いただいたメールアドレスに、メールが送信されます。

参考

「認証エラーです。」と表示された場合

表示された項目（青枠内）をご確認ください。

エラーが改善しない場合は、「お客様情報更新」画面からお客様情報の更新を行なってください。

④ メールを確認します。

本文に記載されたURLから、登録画面を開く。

⑤ 会員登録画面が表示されたら、

画面上のご案内に沿ってお客様情報を登録する。

※MyページID･パスワードはご自身で設定いただけます。
※ご登録いただいたMyページID･パスワードは、メモしていただく等、お忘れにならないようご注意ください。本手帳の表紙の記入欄をご利用いただくことをお勧めいたします。

⑥ 必要事項を入力後、「上記規約に同意のうえ確認」ボタンをクリックすると、確認画面が開くので、

登録内容を確認して、「登録」ボタンをクリック！

以上でMyページの会員登録は終了です。

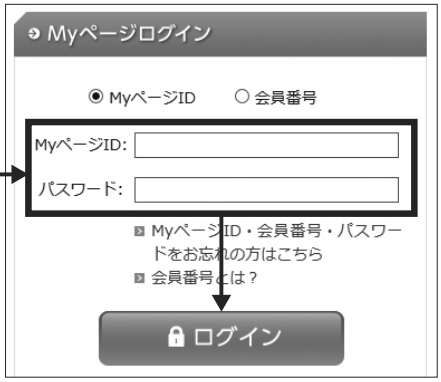
Step3 Myページログイン

① LECホームページより再び、「Myページ」のログイン画面を開きます。(Step2-①参照)

② 「Myページ」のログイン画面に変わったら、

Step2で取得したMyページIDとパスワードを入力し、ログインボタンをクリック!! (会員番号とパスワードの組み合わせでもログインできます)

※「会員番号」を利用してログインを行う場合は、上部のラジオボタンで「会員番号」を選択してください。



※注意
「全角/半角」・「大文字/小文字」を間違えたり、文字の前後にスペース(空白)が入力されていると、正しく認識されません。

※MyページID･パスワードについてのお問い合わせは、メールやお電話ではお答えできません。詳しくは下記ページをご確認ください。

【MyページID･パスワードのご請求について】http://online.lec-jp.com/defaultMall/statics/guide_pass.html

③ ログイン後に出る「学習コンテンツ」画面で

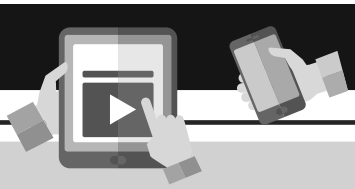
「OnlineStudySP」をクリック！

Step4 講座の受講方法

講座のご受講方法(動画の再生･音声データのダウンロード･PDFの閲覧)は「OnlineStudySPご利用ガイド」をご確認ください。

「OnlineStudySPご利用ガイド」 http://www.lec-jp.com/tsushin/ossp/guide/

スマホ講座の受講方法



スマホ講座の受講開始までの流れは以下の通りです。

Step1 お申込み ⇨ Step2 Myページ会員登録 ⇨ Step3 ログイン ⇨ Step4 講座の受講方法

Step1 お申込み

Step2 Myページ会員登録

「Web講座の受講方法（2ページ）」の
「Step1」「Step2」の項目をご参照ください。
※この操作はパソコンからでも行えます。

Step3 ログイン

※この操作はスマートフォンより行ってください。

① スマホ講座ログイン画面にアクセスしてください。

https://study.lec-jp.com/spn/ スマホ講座ログイン画面へ▶

右下のような画面が表示されます。

② ログイン画面に

「会員番号（Lカード番号）」と「パスワード」を入力し、ログインします。

※「MyページID」ではログインできません。
「会員番号（Lカード番号）」でログインください。

Step4 講座の受講方法

講座のご受講方法は「OnlineStudy SPご利用ガイド」をご確認ください。
「OnlineStudy SPご利用ガイド」
http://www.lec-jp.com/tsushin/ossp/guide/smartphone.html

れっく LEC東京リーガルマインド
〒164-0001 東京都中野区中野4-11-10
■ 平日 9:30～20:00 ■ 土・祝 10:00～19:00 ■ 日 10:00～18:00

お電話での申込み・講座のお問合せ
LECコールセンター
携帯OK 0570-064-464
※このナビダイヤルは通話料お客様ご負担となります。
※固定電話・携帯電話共通（一部のPHS・IP電話からのご利用可能）。
※回線が混雑している場合はしばらくたってからおかけ直し下さい。
www.lec-jp.com

この広告物は発行日現在のものであり事前の告知なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。発行日:2019年4月1日／有効期限:2020年3月31日 著作権者 株式会社東京リーガルマインド © 2019 TOKYO LEGAL MIND K.K.,Printed in Japan 無断複製・無断転載等を禁じます。 XV1903204

LEC Myページのご案内

〔Myページ〕とは、資格取得をめざす皆様のための、オンラインでの窓口です。

LECのMyページでは、パソコンやスマートフォンから様々なサービスを、24時間無料でご利用いただけます。

■GO! GO! ポイント
ＬＥＣオンラインショップで講座・書籍をお申込いただくとポイントが貯まる！貯まったポイントは次回のお申込からご利用可能！割引ｅクーポンとも併用できます。

■ユーザー情報変更
教材の送付先をWeb上で変更可能です。「実家」と「帰省先」などよく使う住所を複数登録できて便利です。

■注文履歴確認
これまでLECオンラインショップにてご注文いただいた講座・商品を一覧で確認できます。

■割引ｅクーポン
LECオンラインショップでのお買い物にご利用いただけるお得な割引サービスです。各種キャンペーンでＧＥＴした割引ｅクーポンを、一覧で確認いただけます。

■希望資格
あなたが興味を持った資格試験をこちらで登録しておけば、各資格試験の情報がLECから提供されます。

■ＬＥＣ資格占い
「資格占い」を実施していただくと、Ｍｙページに「Ｍｙサムライ」が出現！毎日の運勢や、やる気アイテムが日替わりで表示されます！

■Online Study SP
お申込みいただいた講座受講はこちらから！ネットから講義の質問をしたり、受講した講座をどこまで学習したかなどのスケジュール確認をしたり、幅広くお使いいただけます。

■Score Online
受験した模試・答練の結果をネットで確認できます。公開日が来ると個人・総合成績表を、模試の場合は、答練は添削された結果を、PDFデータで閲覧できます。

※LECオンラインショップのご利用にはMyページへの登録が必要です。

登録はカンタン！ Myページのご登録はこちら

http://online.lec-jp.com/mypage/ LEC Myページ 検索

Webでの受講もカンタン！ Myページ登録からWeb講座の受講開始まで

Ｍｙページを初めてご利用になる場合は、登録が必要です。※既に登録（Ｍｙページ ＩＤ取得）がお済みの方は【ステップ３】へお進みください

Step1 お申込み → **Step2** Myページ登録 → **Step3** Myページへログイン → **Step4** 受講スタート

オンライン申込の際の疑問点や、講座のご受講相談等、ご不明点はコールセンターまでお問い合わせください。

LECコールセンター 携帯OK 0570-064-464 受付時間 平日/ 9:30～20:00 土祝/10:00～19:00 日曜/10:00～18:00

不動産鑑定士
2022年合格目標
初学者対象講座
受講ガイド

(FU22001)

著作権者　株式会社東京リーガルマインド
(C) 2021 TOKYO LEGAL MIND K.K., Printed in Japan
無断複製・無断転載等を禁じます。